しずくいしの風

高次脳機能障がいメールニュース

第 11 号　<2014 年 9 月　発行>

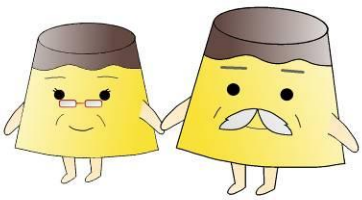
いわてリハビリテーションセンター
高次脳機能障がい者支援普及事業

目次

1　高次脳機能障害を学ぼう

2　研修会情報

3　編集後記



敬老の日にちなみ…
新キャラクター
プリじい、プリばあ
登場です！

1．高次脳機能障がいを学ぼう

第 11 回　トレーニングの段階について

初めて野球をする小学生に、いきなり守備をさせてもできません。まずはキャッチボールをしながらボールの投げ方、捕り方を練習していき、慣れてきたら守備練習というように段階を踏んでいくものです。同じように、高次脳機能障がいに対するトレーニングでも、その方が持っている力や症状に合わせて、トレーニングの内容もステップを踏んでいくことが大切です。

では、実際どのような段階があるのでしょう。

① あなたはどこにいるか（見当識の改善）

昔に行ったことなのか、これから行うことなのか。今どこにいて、何をしようとしているのか。まずは自分が置かれている状況を理解することが大切です。自分の置かれている状況がわからないと混乱してしまい、トレーニングどころではなくなってしまいます。

② 疲れにくい体と精神を（易疲労の改善）

10 分の作業で２時間作業した人と同じくらい疲れてしまう状況だと、いろいろなトレーニングをしようにもできません。どの程度の作業で疲れてしまうのか、本人と支援者が把握し、適切なプログラムを作成して、今後のトレーニングに耐えうる疲れにくい体力と精神力を養う必要があります。

③ その場に合わせて適切な行動を（抑制力・感情コントロールの向上）

他者とのやり取りにおいて我慢できない、待てないとなると、その関わりも自分本位なものになりがちです。目の前のことだけではなく周囲の状況にも目を向け、自分の言動や感情をコントロールできるようになっていくことがその後のトレーニング実施にあたり大切なポイントの一つになってきます。

④ 自分から進んで（意欲・発動性の向上）

誰かに言われないと行動できないままではトレーニングを行ってもなかなか続きません。何かを行うにあたって声掛けがなくても自主的に活動に取り組んだり、意欲を持って行うことがトレーニング効果を高めていきます。

これらの力が付いてきて、ようやくトレーニングを行う準備が整います。準備が整ったらその方の症状に合わせて「注意力や集中力」→「限られた時間内での正確な情報収集」→「記憶力」→「予定の計画・実行（遂行）」など本格的なトレーニングを検討していきます。前回まで、代償手段としてメモリーノートのご紹介もしましたが、これらの機能が落ち着いていない状況で導入してもうまくいかないことは、ご想像していただけるかと思います。それぞれのトレーニング方法については次号以降でまたご紹介します。

季節のお花コーナー

９月のお花「彼岸花」

少しひんやりして、秋の気配ですね。彼岸花が鮮やかに咲きます。

2. 研修会情報

地域コーディネーターフォローアップ研修

日　時：平成 26 年 10 月 23 日(木)　10：00～１６：０５　(受付開始　9：30～)
会　場：エスポワールいわて　３階　特別ホール
〒020-0021　岩手県盛岡市中央通一丁目 1-38
電話・FAX　019-623-6251

対象者：これまでに高次脳機能障がいに関する研修会を受講したことがある方
高次脳機能障がいに関する基礎的な知識を有する方
実際に対象者の相談・支援を行った経験がある方

内　容：講義
高次脳機能障がい者の就労について　　岩手県の現状と課題
岩手障害者職業センター　主任障害者職業カウンセラー　岡田　麗子　氏

事例報告
高次脳機能障がい者の就労支援　　回復期リハ病院の関わりについて
いわてリハビリテーションセンター　ソーシャルワーカー　　松川　恵美

シンポジウム
高次脳機能障がい者の就労支援　　職場の関わり、連携について
職場担当者
当事者
岩手障害者職業センター　主任障害者職業カウンセラー　岡田　麗子　氏
いわてリハビリテーションセンター　ソーシャルワーカー　　上田　大介

昼食・交流会

グループワーク
高次脳機能障がい者の就労支援、連携について
いわてリハビリテーションセンター　臨床心理士　吉田　賢史

詳細はこちらをご覧下さい

3. 編集後記

プリ太です。９月は月見もありますね。今では収穫祭の意味合いがあるようですが、その昔は貴族たちが行う宴会で使われる演出の一つだったようで、月を直接見るのではなく、池に写った月を見るのが乙だったそうです。池は近くになく、仕方がないので直視して風情を味わいたいと思います。

ご意見ご感想はこちらまで
メールニュース担当（巣内・大森）
アドレス koujinou-shien-reha@irc.or.jp

高次脳機能障害支援事業ホームページ
http://www.irc.or.jp/koujinoukinoushougai/index.html